下野新聞

高校選抜スポーツ

全国高校選抜スポーツは29日、新潟市東総合スポーツセンターほかで各競技を行い、レスリング

レスリング男子125キロ級

福島（足大付）初出場準V

福島煌天

男子125キロ級で福島煌天（足利大付）が準優勝した。決勝は藤田宝星（埼玉・花咲徳栄）に0―7で敗れた。

ラグビーの国学院栃木は準決勝で桐蔭学園（神奈川）に7―51で敗れた。ソフトテニスは女子団体2回戦で白鷗大足利が2―1で明豊（大分）に勝利した。

《レスリング》

（新潟市東総合SC）

▽60キロ級3回戦

大関勁心（足大付）　Tフォール2分2秒　深町瑛吾（鹿児島・鹿屋中央）

▽同準々決勝

前原晟人（宮崎・都城西）　Tフォール1分25秒　大関勁心（足大付）

▽125キロ級3回戦

福島煌天（足大付）　3―1　三宅茂（岡山・おかやま山陽）

▽同準々決勝

福島煌天（足大付）　Tフォール4分0秒　平岡虎之介（岩手・種市）

▽同準決勝

福島煌天（足大付）　6―0　中沢遥貴（山梨・甲府城西）

▽同決勝

藤田宝星（埼玉・花咲徳栄）　7―0　福島煌天（足大付）

初舞台で成長手応え

○…レスリング男子125キロ級の福島煌天（足利大付）は日本一こそ逃したが、初の舞台で大きな手応えを得た。

決勝で当たった埼玉の選手は中学時代、何度も対戦した相手。第1ピリオド2分、上体を制された形から背後を取られ、ローリングを食らった。5点を先行されたが「成功しなくても最後まで攻めた」と果敢にタックルを仕掛け続け、初めて6分間を戦い抜いた。

準決勝は昨秋の栃木国体で敗れた相手を圧倒。「前よりかなり成長している」と充実感をにじませた。体重は階級からほど遠い96キロと成長途中の1年生。「もっとパワーをつけて、次は勝ちたい」と切り替えていた。

《ラグビー》

（熊谷ラグビー場）

▽準決勝

桐蔭学園（神奈川）　51（19―0、32―7）7　国学栃木

《ソフトテニス》

（名古屋市ガイシプラザ）

▽女子2回戦

白鷗足利　2―1　明豊（大分）